

令和 2 年 5 月 27 日

## 国際アフェクトーム（感情）研究センター の設置について

近年の研究で、ヒトの感情の発生メカニズムに脳と腸などによる臓器間ネットワークが関与していることがわかってきました。つまり、うつなどの精神疾患は、こころ（脳）とからだ（内臓）の機能不全と考えられます。

そこで、この新しい学術研究を進めるため、ストレス医科学や脳科学の経験や知見を多く有する広島大学と、国内外との専門家による本格的な共同研究を実施する「国際アフェクトーム（感情）研究センター」を令和 2 年 4 月 21 日に設置いたしました。

深刻な社会問題となっているとともに、Post・With コロナで増える可能性がある「うつ」をはじめ、依存症や引きこもりなどに対し、新しいアプローチによる予防や診断で革新をもたらすことが期待されます。

※ アフェクトーム（Affectome）とは、感情研究の総合名称で、ゲノム（Genome）やプロテオーム（Proteome）などに類した名称です。

### 【お問い合わせ先】

国際アフェクトーム（感情）研究センター  
センター長 山脇 成人

または  
学術・社会連携室 学術・社会連携部  
山下 篤也

TEL:082-257-1998 FAX:082-257-1723